

神は弱いものを助けた

小川未明

青空文庫

あるところにて、きわめて仲の悪い百姓がありました。

この仲の悪い甲と乙とは、なんとかして甲は乙を、乙は甲をうんとひどいめにあわしてやりたいと思つていました。けれど、なかなかそんなような機会はこなかつたのであります。

ある年の夏の日のことでありました。幾日も幾日も、天気ばかりがつづいて、雨とゆうものがすこしも降りませんでした。そして、諸所方々の水が涸れてしまつて、井戸の水までが日に日に少なくなるのであります。

甲の家の井戸は深くて、容易に水の尽きるようなことはありませんでしたけれど、乙の家の井戸はわりあい浅くて、もう水が尽きるのに間もありませんでした。

甲は、そのことを知るとたいへんに喜びました。乙の野郎め、水がなくなつてしまつたら、どうするだろう。水を飲まずに生きていられまい。そうすれば、きっとこの村からどこかへ逃げてゆくか、俺のところへ頭を下げて、お願いにくるにちがいないと思ひました。

乙は、だんだん井戸の水が少なくなるので、気が気でありませんでした。もしこの水がなくなってしまうたら、どうしようと思いましたが。しかたがないから、どこかの清水のわき出るところを探さなければならぬと思つて、乙は、その日から毎日、近所の山のふもとの心あたりを探ねて歩きました。

十五、六丁いった谷間に、一つの清水がありました。それが、この旱魃にも尽きず、滾々としてわき出ていました。これはいい清水を見つけたものだ。これさえあれば、もうだいじょうぶだと思つて、乙は喜んで家へ帰りました。

甲は、やはりその清水のあるところを知っていました。どうかして乙にわからなければいいがと思つていましたのが、どうやら乙の知つたらしいようすなので、がっかりしました。

甲は、どうかして、その水を飲めなくしてしまうように苦心したのであります。けれど、いい考えが浮かびませんでした。そのうち、一つの考えが浮かびました。甲は馬を引いて町へ出かけてゆきました。

甲は町でたくさんのお金を買いました。それを馬に積んで帰ってきました。甲は金持ちではありませんから、もし金の力で乙をいじめることができたなら、いくらでも金を使う考えであつたのです。

甲が馬に油だるをいくつも積んで帰ってくる姿を、乙は林の蔭でながめました。

「はてな、あんなにたくさんのお金をなんで甲は仕入れてきたろう。」と、乙は考えました。

乙は、それとなく悟りましたから、すぐに家に帰って、おけをかついで清水へゆきました。そして、日が暮れるまで、せつせと幾十たびとなく、我が家へ水をくんで運びました。そして、たるの中へ水をいっぱい入れました。

甲は日の暮れるのを待っていました。日が暮れると、馬を引いて清水の辺へゆきました。そして、たるの中のお金をすっかり清水の付近へ流してしまいました。甲は家へ帰ると世間へ聞こえるような大きな声でいいました。

「馬がすべつて転んだものだから、買ってきた油をみんな流してしまつた。」と、さも惜しそうにいいました。

乙は明るる日、清水へいつてみると、まるで油がわき出ているようであ
りません。はたして自分の思ったとおりであったとうなずいて、家へ帰つて、水を大事に
使つていました。

甲は、毎日、もう乙の家の井戸水は尽きた時分だが、どうしているだろうと、ようす
をうかがつていましたが、格別乙の家では困つていいるようなようすが見えませんでした。
「もつと早れ、早れ……。」と、甲は空を見ていいました。

「どうか降るように、どうか神さま雨の降るように願います。」と、乙は祈つていました。
すると、乙の貯えておいた水の尽きかかったころ、にわかにか空が曇つて大雨が降つて
きました。そして一時に井戸には水が出て、草木が蘇返りました。そればかりでない、
清水にまいた油はみんな田の中に流れ出て、清水は、またもとのようにきれいに澄みまし
た。その年は、いつにない豊作であつたということです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 2」講談社

1976（昭和51）年12月10日第1刷

1982（昭和57）年9月10日第7刷

初出：「読売新聞」

1920（大正9）年6月3～4日

※表題は底本では、「神《かみ》は弱《よわ》いものを助《たす》けた」となっています。

※初出時の表題は「神は弱い者を助けた」です。

入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班

校正：江村秀之

2013年10月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

神は弱いものを助けた

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>